

政策コメンテーター報告(第4回)(意見照会期間:2015年8月18日~8月28日):武輪 俊彦 武輪水産株式会社代表取締役社長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>2015年8月下旬から9月上旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年5月下旬から6月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのをご参照ください。</p>	悪くなっている	<p>東北の水産業界では、期待されたイカの水揚げが、特に日本海に於いて不調であり、船内凍結品は在庫不足の状況にある。一方アルゼンチンイカの生産は順調で、加工原料が国産から輸入品に置き換えられる割合が増えている。輸出については主要魚種のサバが、仕向け地のアフリカ諸国(ナイジェリア、エジプト等)の外貨不足により不振である。日本産サバの競合相手である北欧産(ノルウェー、アイスランド等)サバはロシアの禁輸政策とアフリカの外貨不足により行き場を失い、値を下げた上で中国加工となって日本国内市場での国産品との競合が懸念される。中国ショック等により円高となれば、輸入原魚をはじめコストの低下により、これまで圧迫されていた利益率の改善につながることも考えられる。</p>
デフレ脱却・経済再生を確実にするための取組			
2 - 1	<p>(別紙5)の1.(1)のとおり、経済財政諮問会議ではデフレからの脱却、経済の好循環の拡大に向けた取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入ください。</p>	-	特にありません。
2 - 2	<p>また、(別紙5)の1.(2)のとおり、経済財政諮問会議では我が国経済の潜在的な成長力の強化について取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入をお願いいたします。</p>	-	<p>津波により被災した地域の水産加工業者は、設備の復旧は進みつつも労働力と販路の確保ができていないところが多く見られる。賃金単価は上昇傾向だが、支払い余力によるものではなく人員確保のためやむを得ない対応であり、海外加工品等との価格競争に不利となる恐れがある。その人手不足対策として、製造ラインの合理化、ロボット化を進める必要があり、その支援策を充実させる必要があると考える。また、外国人の労働力活用に向けての規制緩和も検討すべき課題と考える。</p>